

令和元年6月26日現在

機関番号：11601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K01972

研究課題名(和文) 中口国境地域経済の変容に伴う越境輸送高度化と北東アジアへの含意

研究課題名(英文) Cross-border transportation advancement and connotation to Northeast Asia with the transformation of the China and Russia border regional economy

研究代表者

朱永浩(ZHU, YONGHAO)

福島大学・経済経営学類・准教授

研究者番号：90552860

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、中国東北部およびロシア極東地域の視点から、中口間の物流・輸送分野での経済相互連携の推進状況ならびにハード・インフラとソフト・インフラに関わる政策課題を明らかにしてきた。その上で、国際物流の観点から、「一帯一路」構想に関わる新たな輸送ルートの経路ならびに国境輸送等に関する調査を行い、北東アジア域内の経済連携への影響についても検証を行った。その研究成果は、著書、論文、学会報告、国際セミナー研究報告として発表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来の人口移動・国境貿易を通じた経済相互依存関係の実態調査に関する研究アプローチとは一線を画し、中口間の物流・輸送分野での経済相互連携の深化、越境物流の高度化といった点について明らかになった知見に基づき、「制度的基礎」の形成過程という新たな研究視点を提示し、中口地域間経済関係の実態変容を解明するための実証研究の発展に寄与できた。その上で、北東アジア経済協力推進の「プラットフォーム」の機能を果たしつつある「一帯一路」の進捗状況並びにその全体的な傾向を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This study has clarified the state of promotion of economic interaction in the field of logistics and transport between China and Russia, and policy issues related to hard infrastructure and software infrastructure from the perspective of Northeast China and the Russian Far East. In addition, from the viewpoint of international logistics, we performed an investigation about the course of a new transit route about "the Belt and Road Initiative (BRI)" and the border transportation and inspected it about the influence on economic cooperation within the Northeast Asia. We announced the results of research as academic books, dissertations, conference presentations, and international seminar research reports.

研究分野：北東アジア経済論

キーワード：北東アジア経済協力 中口地域経済関係 国際物流・輸送 一帯一路 GTI

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者は、中国東北部(遼寧省、吉林省、黒龍江省)の経済発展の特徴及びロシア等の近隣諸国との経済関係に焦点を当てた研究を行ってきた。これらに関する研究成果を、『中国東北経済の展開 - 北東アジアの新時代』(朱永浩, 2013, 日本評論社)にまとめ、貿易・投資、物流等の分野において二国間・多国間の協力により、中国東北部は、北東アジア経済連携の重要な「結節点」として、不可欠かつ重要な役割を果たそうとしていることを明らかにした。とりわけ、貿易・投資という視点から内陸省(吉林省、黒龍江省)の水平的な貿易構造を明示しつつ、国内・国際物流ボトルネックが内陸省の経済発展の制約要因となっていることを示した。その上で、内陸省の制約要因克服のためには、陸上国境で接するロシア極東地域との経済協力が不可欠な要素であると指摘した。本研究は、これまでの研究を継承・発展させるものである。

(2) 近年の中口地域間経済関係は大きく変容しており、「国境貿易」から様々な分野に広がりを見せている。多様な貿易形態に対応し得る物流・輸送体制の確立は喫緊の課題であるが、そのためにはインフラ整備、統合的なルールづくりなど、中口両国間及び北東アジア多国間の協力に基づく「制度的基礎」の形成が不可欠である。さらに、中口東部国境における越境輸送は、ロシア領内を通過して海上輸送と組み合わせた国際複合一貫輸送の最重要構成要素である。北東アジア内陸地域がロシア極東港湾という海への出口を新たに獲得することは、日本海を介した域内物流の活発化のみならず、北東アジアの経済活動の地理的構造に大きな変化をもたらさう。

### 2. 研究の目的

(1) 本研究では、中口両国の貿易、輸送等に関する統計データを収集、突合するほか、文献調査やヒアリング調査結果の比較分析を行い、中口国境物流・輸送の実態を把握する。

(2) 関連資料の収集分析や物流事業・行政関係者へのヒアリング調査を通じて、中国東北部からロシア極東地域への国際輸送及び試験的に実施されている第三国向けの複合一貫輸送の実態を明らかにする。その上で、高度化するニーズへの対応という観点から、整備されつつある中口協力枠組み作りの可能性及び有効性を検証する。

(3) GTI や「一帯一路」構想などの「制度的基礎」が形成され、新たなニーズに対応した越境輸送サービスが提供されるようになった場合に、国際複合一貫輸送が北東アジア地域経済にいかなる構造変化をもたらすかについて考察を行う。

### 3. 研究の方法

(1) 物流・輸送分野における中国東北部とロシア極東地域の経済関係の実態を解明し、制度的基礎の形成過程並びに物流・輸送分野における統計データ、複合一貫輸送の実施状況等に関する現地資料の収集・整理・実証分析を実施した。

(2) 中国東北部の黒龍江省、吉林省及びロシア極東地域の沿海地方を対象に、物流・輸送分野の政府有識者、専門家、国際物流・輸送の実施主体へのヒアリング調査を実施し、中口国際輸送に関わる「制度的基礎」の有効性検証と北東アジアへの含意の考察を行った。

(3) 北東アジア地域経済協力の「プラットフォーム」の機能を果たしつつある「一帯一路」構想に関わる新たな輸送ルートの経路並びに国境輸送等に関する調査を行い、国際物流・輸送の観点からその進捗状況を分析し、「一帯一路」の重要経済回廊の「中国・モンゴル・ロシア経済回廊(CMREC)」を中心に北東アジア地域経済への影響についても検証を行った。本研究において得られた研究成果は、著書、学術論文、学会報告、国際セミナー研究報告として発表した。

### 4. 研究成果

(1) 本研究は、中国東北部およびロシア極東地域の視点から、中口間の物流・輸送分野での経済相互連携の推進状況ならびにハード・インフラとソフト・インフラに関わる政策課題を明らかにしてきた。中口国境地域の円滑な国際物流を阻害する要因として、主に国境地帯に存在する4種類の「不連続点」が指摘できた。すなわち、鉄道や道路の未接続による不連続点、鉄道軌道幅の相違による不連続点、国境通過に伴う税関・出入国管理・検疫の手続き・検査による不連続点、トラック輸送の乗り入れ範囲の制限による不連続点の4点である。このうち、と はハード・インフラ面(鉄道、道路等)に起因するものであり、と はソフト・インフラ面(運送事業関連制度、安全規制等)の障壁である。これらの不連続点という課題に対する具体的な対応策について、ハード・インフラ面の整備のボトルネックとなっている部分の解消はもとより、ソフト・インフラ面の課題に関しても、複雑な制度の簡素化や、制度運用の透明化、中国・ロシアを含む各関係国間の協力推進の戦略と工程表の策定・情報の共有、国際協力に欠かせない人材育成体系の整備など、様々な仕組みの構築および実効性の確保が必要となる。

(2)本研究では、北東アジア地域経済協力の枠組みとして、政府間協定に基づく国際協力機関である「大図們江イニシアチブ(Greater Tumen Initiative: GTI)」の意義が確認できた。中国、モンゴル、韓国及びロシアが参加するGTIが6本の輸送回廊整備を進めている。これらの輸送回廊のいくつかは大陸内部から日本海への輸送ルートを開くものである。GTIは構想段階から始まって、計画策定、建設作業の各段階、さらには長期にわたる運営を通じて、官民様々なレベルでの協議・調整作業が行われる。そのための定期的な協議機関の設置や共同運営組織の設立などを通じて、関係国間の協力が確固たる体制を持つことになる。また、共同で事業を実現したといった達成感の共有、安全な運営を担っているといった責任感の共有などは、直接担当者レベルでの信頼感を生むと期待できる。その一方で、「中国東北部とロシア極東・東シベリア地域の協力プログラム(2009~2018年)」に代表されるように、中ロ両国間の国際物流・輸送に関わる協力枠組みは構築されつつあるが、その多くは輸送手段や乗組員の移動に関する事項を扱っており、貨物の通関手続きの簡素化には触れていないという課題等が依然として残されている。

(3)本研究は、国際物流の観点から「一帯一路」構想に関わる新たな輸送ルートの経路ならびに国境輸送等に関する調査を行い、北東アジア域内の経済連携への影響についても検証を行った。2015年以降、北東アジア地域において国際的な意義を持つ中国・モンゴル・ロシア経済回廊(CMREC)が、「一帯一路」構想における6つの経済回廊の一つとして特定された。CMRECがいま、北東アジアの地域間経済協力を変貌させる原動力として、ロシア主導の「ユーラシア経済連合」との連携を図りながら、「一帯一路」の重要な一翼を担おうとしている。とりわけ、国際物流は中国とロシアにおける優先的かつ重点的な協力的分野であると指摘できる。中国発でヨーロッパと鉄道で結ぶCMRECの輸送ルートは、4本の鉄道路線が存在する。すなわち、「阿拉山口・ホルゴス~中央アジア~ロシアのシベリア鉄道(SLB)」、「エレンホト~モンゴル~SLB」、「満洲里~SLB」、「綏芬河~SLB」の4ルートである。これらの鉄道路線は、中国からヨーロッパへの物流・国際輸送を最短距離で結ぶコンテナ鉄道輸送の主要ルートと位置付けられている。北東アジア国際物流の整備に積極的にアプローチする中国の動きは、地理的に離れた日本を連結させる場合、ロシア極東地域を経由する物流の新たなルート(陸のシルクロードの東側への延長)を開拓することが不可欠である。今後、ロシア極東地域の港湾を経由する国際複合一貫輸送の常態化の実現に向けて、中国はより積極的に動く可能性が高いと考えられる。

#### <引用文献>

- 伊集院敦・日本経済研究センター編『変わる北東アジアの経済地図 - 新秩序への連携と競争』文眞堂, 2017.  
河合正弘編『北東アジアの経済成長 - 構造改革と域内協力』日本評論社, 2018.  
朱永浩編『アジア共同体構想と地域協力の進展』文眞堂, 2018.  
朱永浩『「一帯一路」の進展と北東アジア物流』, 進藤榮一・周璋生・一帯一路日本研究センター編『一帯一路からユーラシア新世紀の道』日本評論社, 2018.

#### 5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 8 件)

- ①包振山・朱永浩, 東北亜零售業的競合發展与区域合作可能性研究, 北東アジア地域研究, 第25号(北東アジア学会), 1-13, 2019. (査読有り)  
包振山・朱永浩, 日本流通政策的演變及对我国的啓示, 中国流通經濟, Vol.33 No.2(中国市場学会), 38-48, 2019. (査読有り)  
朱永浩, 中国におけるキャッシュレス化の現状と課題 - 020 マーケティングの可能性, ERINA REPORT (PLUS), 146(環日本海経済研究所), 9-15, 2019. (査読無し)  
朱永浩・何為民・張力, EC市場の拡大による地域経済への影響とマーケティング課題 「粵西地域」の事例を中心に, 福島大学地域創造, 第30巻第2号(福島大学地域創造支援センター), 41-49, 2019. (査読無し)  
志田仁完・新井洋史, ロシアの対アジア経済政策の最近の動向, ERINA REPORT (PLUS), 143(環日本海経済研究所), 14-21, 2018. (査読無し)  
包振山・朱永浩, 中国における内資系小売企業の成長と競争力 利群集団の事例を中心に, 福島大学地域創造, 第29巻第2号(福島大学地域創造支援センター), 35-48, 2018. (査読有り)  
新井洋史, 日本海対岸地域の構造変化と日本海側地域の地域開発, 地域開発, 621(日本地域開発センター), 18-22, 2017. (査読無し)  
新井洋史, ユーラシア物流の台頭と新たな日本海物流の胎動, 運輸と経済, 第76巻第12号(交通経済研究所), 77-83, 2016. (査読無し)

[学会発表](計 19 件)

- ①朱永浩, 中露国境貿易の過去と現在, 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」/北東アジア学会連携シンポジウム「北東アジアの鳴動:朝鮮半島,中露国境地域,

蒙中露辺境」, 2019. (富山大学)

朱永浩, 一帯一路構想の進展と北東アジア物流, 総合科目「アジア共同体構想と地域協力の進展」及び科研「中口国境地域経済の変容に伴う越境輸送高度化と北東アジアへの含意」連携国際セミナー「アジア物流と一帯一路構想の展開」, 2018. (福島大学)

朱永浩, 一帯一路の進展と「海運強国」への道, 中国経済経営学会 2018年度全国大会, 2018. (大東文化大学)

朱永浩, 21世紀海上絲綢之路背景下建設海運強国面臨的機遇与挑戰, 「“一帯一路”背景下東北亜跨境運輸走廊の結構及効応研究」, 吉林大学北東アジア研究院世界經濟研究所主催セミナー(招待講演), 2018. (中国長春市)

朱永浩, 中国におけるキャッシュレス化の現状と可能性, 多国籍企業学会 第11回全国大会, 2018. (関西大学)

朱永浩, 一帯一路と北東アジア物流, 国際アジア共同体学会 2018春季大会, 2018. (専修大学)

朱永浩, 東アジア経済の構造転換と地域協力の重要性, 「第一回 北部湾地域経済国際フォーラム」, 広東海洋大学寸金学院主催フォーラム(招待講演), 2018. (中国湛江市)

朱永浩, 北東アジア地域経済協力と物流, 「第39回中国環境問題研究会」, 中国環境問題研究会主催研究会(招待講演), 2018. (東京都)

朱永浩, 中口国境地域からみる東北アジア地域経済協力, 福島大学経済経営学類主催国際セミナー『東北アジア経済協力と一帯一路戦略の進展』, 2018. (福島大学)

朱永浩, 北東アジア経済の変貌と物流, 福島大学経済経営学類主催国際シンポジウム『東アジア地域協力と朝鮮半島の展望』, 2018. (福島大学)

朱永浩, 東北亜区域経済合作與物流共同體的可能性, 「亞洲共同體系列講座」, 中興大學國際政治研究所主催講座(招待講演), 2017. (台湾台中市)

朱永浩, 中国東北三省とロシア(極東地域)との経済関係, 北東アジア学会 第23回学術研究大会, 2017. (日本大学)

朱永浩, 北東アジア経済の変貌と物流共同體の可能性, ワンアジア財団主催『One Asia Convention Nagoya 2017, Session1(Politics, Economics, Social Matters, Environment and Social Matters)』, 2017. (名古屋市)

朱永浩, 北東アジア経済の変貌とビジネスチャンス, 秋田国際コンテナ港発展協議会主催「北東アジアビジネスセミナー」(招待講演), 2017. (秋田市)

朱永浩, 北東アジア経済連携と国際複合一貫輸送 中国東北部の視点から, 「新情勢下の北東アジア地域協力」, 吉林大学北東アジア研究院主催日中専門家対話(招待講演), 2016. (中国長春市)

朱永浩, 近年における中国東北経済の対外関係の現状と展望, 北東アジア学会 第22回学術研究大会, 2016. (慶応義塾大学)

朱永浩, 近年における東北経済の対外関係の実態と今後の可能性, 北東アジア学会関西地域研究会『中国東北経済を考える - 成長減速の背景と今後の発展可能性』, 2016. (立命館大学)

朱永浩, 中国の「一帯一路」戦略をどうみるか その成果と課題, 「アジア・コンセンサス研究会」, アジア・コンセンサス研究会主催研究会(招待講演), 2016. (明治大学)

朱永浩, 中露国境地域の経済交流実態をみる 国境の町・綏芬河のいま, 「境界研究ユニット(UBRJ)セミナー」, 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター主催セミナー(招待講演), 2016. (北海道大学)

#### [図書](計 9 件)

①朱永浩「第7章 海上シルクロード 『海運強国』は実現可能か?」, 穆堯芊・徐一睿・岡本信広編, 『「一帯一路」経済政策論 プラットフォームとしての実像を読み解く』日本評論社, 141-158, 2019.

朱永浩・包振山・何為民編『東亜経済的競合発展与市場營銷新趨勢』経済科学出版社, 1-196, 2019.

朱永浩「第8章 『一帯一路』の進展と北東アジア物流」, 進藤榮一・周璋生・一帯一路日本研究センター編『一帯一路からユーラシア新世紀の道』日本評論社, 63-69, 2018.

陳宏付・周璐・雷権勇・包振山・朱永浩編『国際市場營銷理論与実務』北京理工大学出版社, 1-276, 2018.

朱永浩編『アジア共同体構想と地域協力の進展』文眞堂, 1-248, 2018.

朱永浩「第10章 北東アジア経済の変貌と物流共同體の可能性」, ワンアジア財団編『アジア共同體へ向かって 教育を通じた平和』芦書房, 143-162, 2018.

新井洋史「第1章 東に向くロシア - 整備が進む極東の物流・エネルギーインフラ」, 伊集院敦・日本経済研究センター編『変わる北東アジアの経済地図 - 新秩序への連携と競争』文眞堂, 10-39, 2017.

朱永浩「第2章 北東アジアに開かれる中国東北部 - 改革開放の進展と課題」, 伊集院敦・日本経済研究センター編『変わる北東アジアの経済地図 - 新秩序への連携と競争』文眞堂, 40-66, 2017.

朱永浩, 「第8章 貿易と開発(南北問題)」, 小林尚朗・篠原敏彦・所康弘編『貿易入門 世

界と日本が見えてくる』大月書店, 147-163, 2017.

## 6 . 研究組織

### (1)研究分担者

研究分担者氏名：新井 洋史

ローマ字氏名：ARAI, Hirofumi

所属研究機関名：環日本海経済研究所

部局名：調査研究部

職名：部長・主任研究員

研究者番号(8桁): 30551402

### (2)研究協力者

研究協力者氏名：于 瀟(吉林大学北東アジア研究院長・教授)

ローマ字氏名：YU XIAO

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。